

公安委員会
説明資料 No. 1

警察官の特別派遣について

令和6年2月15日
警 備 部

議題事項

島根県公安委員会から援助の要求があったので、これを受理して警察官を特別派遣する。

1 派遣目的

第19回「竹島の日」記念式典等に伴う警備のため

2 派遣概要

警察官

3 援助要求

警察法第60条第1項の規定により、島根県公安委員会から援助の要求があったもの

報告事項

令和5年中における遺失・拾得物の取扱状況について報告する。

1 遺失・拾得届出状況

(1) 遺失届出

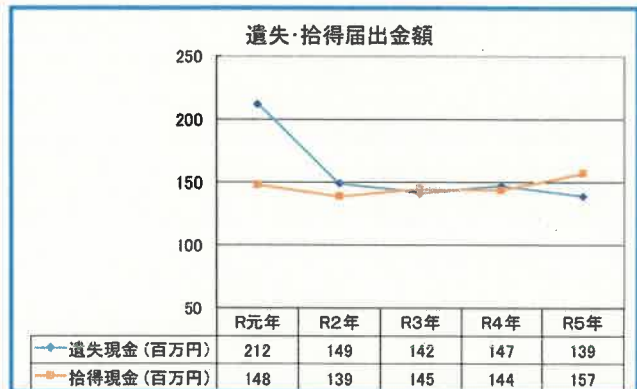
- 件数 1万4,896件 (前年比 +605件 (+4.2%))
- 現金 1億3,935万9,778円 (前年比 △812万9,635円 (△5.5%))
- 物品 3万1,023点 (前年比 +1,768点 (+6.0%))

- 物品の上位3品目
 - ① 証明書類・カード類 (運転免許証、キャッシュカード等) 1万5,781点 (50.9%)
 - ② 財布類 4,484点 (14.5%)
 - ③ 携帯電話類 2,549点 (8.2%)

(2) 拾得届出

- 件数 10万688件 (前年比 +1,564件 (+1.6%))
- 現金 1億5,730万5,647円 (前年比 +1,318万3,773円 (+9.1%))
- 物品 8万5,670点 (前年比 +6,741点 (+8.5%))

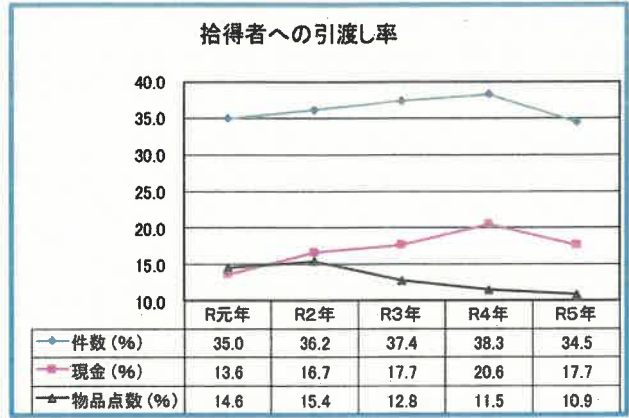
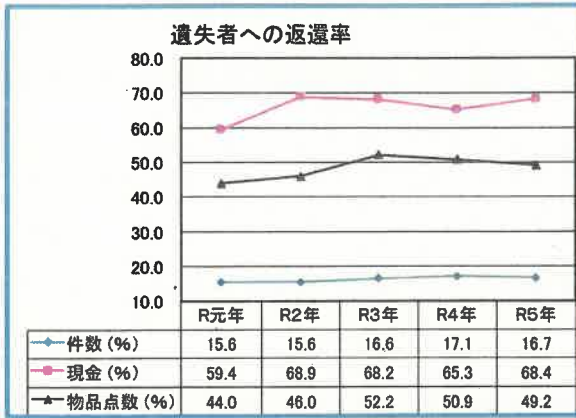
- 物品の上位3品目
 - ① 証明書類・カード類 (運転免許証、キャッシュカード等) 2万2,366点 (26.1%)
 - ② 生活用品類 (ハンカチ、キーホルダー等) 9,038点 (10.5%)
 - ③ 財布類 7,576点 (8.8%)



2 拾得物の処理状況

区 分	遺失者返還	拾得者引渡し	県帰属
拾得件数	1万5,757件 (16.7%)	3万2,585件 (34.5%)	4万6,115件 (48.8%)
現金	1億757万6,478円 (68.4%)	2,780万7,761円 (17.7%)	2,198万7,124円 (14.0%)
物品	3万5,590点 (49.2%)	7,858点 (10.9%)	2万8,898点 (39.9%)

※ この表は、令和5年中の処理件数等を示し、令和5年中の拾得件数等とは一致しない。



3 現金 10 万円以上の遺失・拾得届出

- 遺失届出件数 295 件、最高金額 120 万円 (本人発見)
- 拾得届出件数 215 件、最高金額 115 万円 (返還済み)

4 特異な拾得物件

- ミズオオトカゲ (小豆警察署)
- ヤギ (さぬき警察署)

5 警察署別取扱件数

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| ○ 遺失届出 (上位 3 署) | ○ 拾得届出 (上位 3 署) |
| ① 高松北警察署 4,797 件 (32.2%) | ① 高松北警察署 3万 329 件 (30.1%) |
| ② 高松南警察署 2,322 件 (15.6%) | ② 丸亀警察署 2万 5,494 件 (25.3%) |
| ③ 丸亀警察署 2,312 件 (15.5%) | ③ 高松南警察署 1万 4,376 件 (14.3%) |

公安委員会 説明資料 No. 3	令和6年全国優秀警察職員表彰被表彰者の 決定について	令和6年2月15日 警務部・情報通信部
---------------------	-------------------------------	------------------------

報告事項

全国優秀警察職員表彰の被表彰者が決定した。

1 被表彰者

- 高松東警察署 警務課長
警 部 濱垣 勝之（はまがき かつゆき） 57歳
- 中国四国管区警察局香川県情報通信部機動通信課 通信現業管理官
警察庁技官 藤澤 誠（ふじさわ まこと） 53歳

2 表彰者

警察庁長官

3 表彰種別

警察功労章

4 表彰日

令和6年3月4日（月）

5 功労の概要

- 濱垣勝之 警務課長
香川県警察官拝命以来38年余りのうち、約23年間を刑事部門で勤務し、知能犯捜査員として贈収賄事件をはじめ、重要知能犯罪事件の捜査に携わってきたほか、警部昇任後は、本部捜査第二課知能犯特別捜査担当補佐、高松北署刑事第二課長として捜査の指揮にあたり、数多くの事件検挙に貢献するとともに、若手の指導育成にも尽力し、組織力の向上にも努めている。
- 藤澤誠 通信現業管理官
警察庁技官拝命以来32年余りにわたり警察通信業務に精励し、警察情報通信システムの整備・維持に尽力している。特に、基幹通信及びデータ通信の分野に関して卓抜した知識と経験を有し、電話交換システム、自動車ナンバー自動読取システムなどの整備、保守及び円滑な運用に携わり、長年にわたり警察活動を技術面から支えている。
若手の育成にも力を入れており、上司や部下、他課の職員からの信頼も厚い。

6 その他

全国で96人が受賞

- 非行少年総数は281人で、前年より54人(23.8%)増加
- 包括罪種別では、全ての罪種で増加、窃盗犯と粗暴犯で全体の76.4%を占める
- 児童ポルノ事犯の総検挙件数は42件で、前年より5件(13.5%)増加

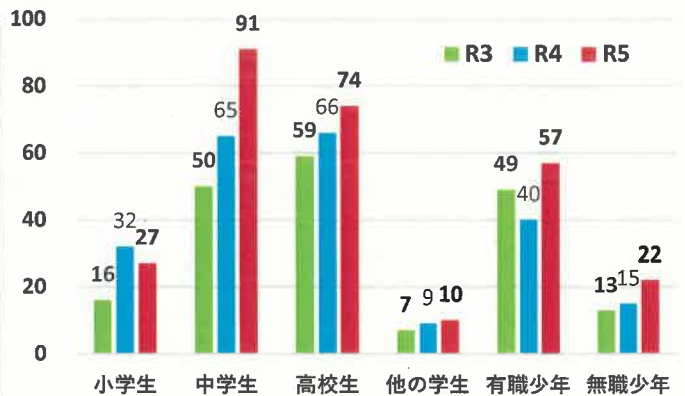
報告事項

1 少年非行の状況等

(表1) 検挙・補導状況

区分	年次	R3年	4年	5年	増減数
総数(人)		194	227	281	54
犯罪少年		158	162	202	40
刑法犯		102	120	173	53
特別法犯		56	42	29	▲13
触法少年		36	65	78	13
刑法犯		35	61	64	3
特別法犯		1	4	14	10
ぐ犯少年		0	0	1	1

(グラフ1) 学職別
(人)



(表2) 罪種別

区分	年次	R3年	4年	5年	増減数
刑法犯(人)		137	181	237	56
凶悪犯		1	3	5	2
粗暴犯		35	53	68	15
窃盗犯		68	75	113	38
その他		33	50	51	1
特別法犯(人)		57	46	43	▲3
薬物関係		10	14	10	▲4
軽犯罪		10	16	16	0
児ポルノ		15	5	11	6
その他		22	11	6	▲5

(表3) 児童ポルノ事犯の総検挙件数(態様別)

区分	年次	R3年	4年	5年	増減数
総検挙件数(件)		36	37	42	5
製造事犯		23	26	23	▲3
単純製造		15	25	12	▲13
盗撮製造		8	1	11	10
提供・公然陳列事犯		10	6	13	7
提供		7	6	12	6
公然陳列		3	0	1	1
所持等事犯		3	5	6	1

- (1) 非行少年総数は281人で、前年比54人(23.8%)の増加
- (2) 犯罪少年、触法少年の検挙・補導人員は、いずれも前年より増加
- (3) 学職別では、前年と比較して小学生のみ減少、中学生が高校生を上回り最多
- (4) 刑法犯は全ての罪種で増加、窃盗犯と粗暴犯で全体の76.4%
- (5) 薬物関係の検挙人員は10人で、前年比4人減少

2 子どもの性被害の状況等

- (1) 児童ポルノ事犯の検挙件数、検挙人員はいずれも前年より増加、被害児童数は減少
- (2) 少年間における児童ポルノ事犯が増加

3 当面の対策

- (1) 非行防止教室の拡充
非行情勢に合わせた内容の追加
- (2) かがわマナーアップリーダーズ活動の推進
学校の課題を踏まえたテーマを基にしたリーダーズサミットの開催
- (3) 少年の立ち直り支援活動の推進
 - ア 少年補導職員等に対する研修の充実
 - イ 立ち直り支援活動への参加同意率の向上
- (4) 旅館、ホテル等との連携に加え、インターネットカフェ等にも協力依頼を拡大実施
- (5) 児童や誘引者に対するSNSを利用した注意喚起・警告活動の推進

報告事項

令和5年中の死体取扱状況について報告する。

1 死体取扱状況（交通関係を除く。）

区分	取扱 総数	検視官臨場状況		死体解剖状況				
		臨場数	臨場率 (%)	司法解剖		特定 行政 解剖	解剖 総数	解剖率 (%)
				解剖数	解剖率 (%)			
R4年中	1,564	1,464	93.6	87	5.6	10	97	6.2
R5年中	1,612	1,487	92.2	80	5.0	9	89	5.5
前年比	+48	+23	-1.4	-7	-0.6	-1	-8	-0.7

- 令和5年中の死体取扱総数は1,612体で、前年(1,564体)と比較し48体増加
- 検視官の臨場数は1,487体で、前年(1,464体)と比較し23体増加
死体取扱総数に占める割合(臨場率)は92.2%で、前年(93.6%)と比較し1.4ポイント減少
- 司法解剖数は80体で、前年(87体)と比較し7体減少
「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」(平成24年法律第34号)に基づく解剖(特定行政解剖)数は9体で、前年(10体)と比較し1体減少
解剖総数は89体で、前年(97体)と比較し8体減少
死体取扱総数に占める割合(解剖率)は5.5%で、前年(6.2%)と比較し0.7ポイント減少

2 全国の死体取扱状況（暫定値）

- 死体取扱総数 19万8,657体（前年比+2,554体）
- 検視官の臨場率 79.4%（前年比+2.8ポイント）
- 死体解剖総数 2万93体（前年比+1,369体）
解剖率 10.1%（前年比+0.6ポイント）